

茨城県稲敷郡
阿見町

アウトレットモール⇒道の駅⇒水辺空間をつなぎ、魅力を発信する

まい・あみ・まつり 写真提供：阿見町

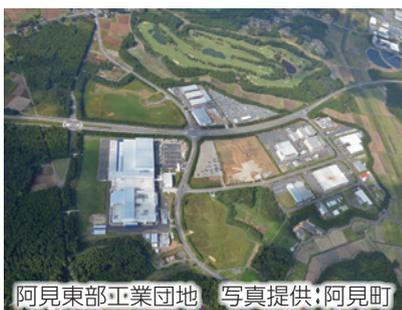
茨城県内の44の市町村を、それぞれにゆかりのある筑波銀行の支店長がご紹介します。第25回は、稲敷郡阿見町です。筑波銀行は、阿見町内に2か所3か店の営業店を設置し、阿見町の皆さまと密接な関係を築いています。阿見支店長の中村英夫が、阿見町長 天田富司男氏、総務部長 横田健一氏、生活産業部長 湯原幸徳氏、都市整備部長 篠崎慎一氏にお話を伺いました。

●阿見町が一番と考えていること、自慢できることはなんですか

成長余地

平成19年に圏央道が町内に開通し、その後の延伸に伴い、常陸那珂港、成田空港へのアクセスが便利になりました。こうしたことを背景に、阿見東部工業団地への雪印メグミルク株式会社とその関連企業が進出しました。また、阿見東インター周辺で実施されている阿見吉原土地地区画整理事業地内にも物流施設の進出が予定されています。

町内には3つの工業団地のほか土地地区画整理事業による面整備が行われております。企業進出の受け皿のみならず、新たな住民を受け入れる宅地を供給できる市街地があることから、大きな成長余地があるといえます。



阿見東部工業団地 写真提供：阿見町

成長余地を生かす町の施策として、「阿見町工場誘致条例」を制定することにより、固定資産税相当額の奨励金による企業進出、雇用促進奨励金による町民雇用を進めています。さらには、町内企業従業員の町内定住を促進する施策を検討しています。これにより、新たな企業進出と従業員の定住を進めたいと考えています。

暮らしやすい町

暮らしやすい町だと自負しています。霞ヶ浦に面し、自然も充分に残るとともに、ほとんどの農

産物が育つ豊かな土壌もあります。また、しっかりとした地盤の上にあることから、自然災害の少ない安全な町といえます。

日常生活においては、スーパーマーケットやロードサイド店舗と呼ばれる飲食店が多く出店し、生活利便が確保されています。さらには、茨城県立医療大学付属病院、東京医科大学茨城医療センターがあるほか、茨城大学農学部、茨城県立医療大学の2つの大学が立地しています。生活には様々なものが必要で、暮らしやすい町には総合的な力が必要となりますが、阿見町はそういう地域であると思います。

人口の増加

町の人口は6月1日現在48,027人であり、昨年11月から4万8千人台で推移しています。充実した生活環境と、企業進出や荒川本郷地区等における宅地供給が着実な人口増加を支えていると考えています。しかし、我が国の人口は減少局面を迎えました。町の第6次総合計画においては、平成35年の人口見通しを5万人としていることから、定住や移住促進について戦略的な取組みが必要となります。

町ではこの見通しを達成できると考えています。そのためには、さらに暮らしやすい町にするための施策展開の実施はもとより、人口増加を図ることのできる開発適地があること、これを戦略的に供給できることが大切だと考えています。なかでもJR常磐線ひたち野うしく駅周辺地区、圏央道の牛久阿見インター周辺は、これから開発等を仕掛けることのできる貴重な場所となります。



天田町長



横田部長



湯原部長



篠崎部長



中村支店長

る機会となります。
ポテンシャルの発揮
③：PRと町民参画
 圏央道を活用した
 企業活動の優位性、
 日常生活の利便性、
 さらには子育て支援
 策をはじめとする各

●今後の展望を教えてください

ポテンシャルの発揮

町のポテンシャルは、まだ十分にあると考えていますが、これをどのように発揮するのが課題となります。

ポテンシャルの発揮①：道の駅の整備

あみプレミアム・アウトレットのオープン以来、町への入込数は年3百万人を超えるとされています。これを町の活性化にどのようにつなげるかが課題となっています。

このための一方策となる道の駅について、平成31年の開業を目指して事業を進めています。予定地は国道125号線バイパスと阿見東インターから霞ヶ浦に至る県道が交差する追原地区としました。ここは、阿見東インターチェンジ、あみプレミアム・アウトレット、工場見学施設を持つ雪印メグミルク、さらには、霞ヶ浦湖畔、予科練平和記念館を結ぶ動線をつくり出す適地となっています。訪れた人々に町を知っていただき、楽しんでいただくことを通じ、町での消費拡大、地域の活性化につなげたいと考えています。さらには、町へのリピーターを獲得したいと考えています。

ポテンシャルの発揮②：霞ヶ浦の活用

霞ヶ浦をどう生かしていくかは長年の課題でもありました。

町では水辺空間を活かした「湖まちづくり」を進めています。霞ヶ浦に桜の名所をつくるため、平成26年度に、掛馬地区に約400メートルの「桜堤」を整備するとともに、島津地区の湖岸に住民の憩いの場となる「島津小公園」を整備し、サクラの苗木56本を植樹しました。これらのほか、サイクリングロードの整備を進めているところです。平成31年には霞ヶ浦湖岸を会場に「いきいき茨城ゆめ国体」の正式種目37競技に含まれるセーリングが開催されます。町の豊かな水辺空間を発信す



ガーデンシティ湖南 写真提供:阿見町

施策に関しても一定水準以上にあると思います。しかし、このことが広く浸透しているとは言えず、十分な定住につながっていないことが課題です。

この対応として、積極的な情報発信を進めることが考えられますが、行政だけでは限界があります。民間企業やNPO等からの情報発信にも期待しています。

地方創生

現在、全国で地方創生の取組みが進められていますが、町はこれに先立ち総合計画の重点施策として、定住促進を掲げています。しかし、「これをやれば人口が増える」という施策はありません。町では行政改革の積み重ね、地道な政策の積み重ね、これらを着実に実行に移していくことが大事であると考えています。地方創生といっても、従来から取り組んでいるものの延長線上にあるものであり、地方創生に関する諸制度、財源を上手に活用しながら、町政を着実に推進したいと考えています。

●筑波銀行に期待することをお聞かせください

行員の皆さんが、毎朝のように支店の周りの清掃や除草をしている姿に感心しています。このような取組みが全ての住民にとって当たり前の行動となれば、地域はさらに住みやすくなります。住みよいまちづくりの根底には心ある人々のボランティアがあると考えています。

町の一大イベントである「まい・あみ・まつり」へのボランティアとして、既に参加いただいておりますが、可能であれば、霞ヶ浦清掃大作戦や、阿見町道路里親制度・阿見町公園緑地里親制度にも参加していただき、地域との交流をさらに深めていただければと思います。

また、中小企業を対象とする自治金融制度にも取り組んでいただいておりますが、それに加えて、お客様同士の様々な情報を結びつけ、例えば、土地活用などのビジネスに発展することも期待しています。

最後になりますが、阿見町は振り込め詐欺の被害額が県内上位にあり、とても残念なことです。引続き、被害防止へのご協力をお願いします。

(文責：筑波総研株式会社 主任研究員 國安 陽子)